



設計内容チェックシートの作成について(通知)

技術基準の種類:積算
通知日:平成15年 5 月26日

管第335号
平成15年5月26日

日野総合事務所県土整備局長
各 地 方 県 土 整 備 局 長
姫路鳥取線用地事務所長
鳥取空港管理事務所長
鳥 取 港 湾 事 務 所 長

様

県土整備部長
(公印省略)

設計内容チェックシートの作成について(通知)

このことについて、工事設計書の審査業務に関する精度向上のため、別添のとおり設計内容チェックシートの標準様式を作成しましたので、各機関におかれては、下記により個別に設計内容チェックシートの様式を定め、起工伺に添付させることとしてください。

記

- 添付対象 全ての起工伺(工事設計書)を対象としてください。
- 各機関版の作成 別添様式を元に、各機関版の様式を定めてください。
(コスト縮減目標値の設定、機関独自の取組の追加等)
- その他 その他、不要な項目の削除、独自の項目の追加等を行った上で使用してください。

設計内容チェックシート

平成15年5月26日

- このチェックシートは、全ての工事設計書に添付すること。
- 「チェック項目」欄及び「設計内容・添付資料」欄、「チェック内容(※印部分のみ)」欄については、設計担当者が記入すること。
- 「チェック内容(※印以外の部分)」欄については、審査課(計画調査課等)の担当者がチェックすること。

チェック項目	設計内容・添付資料	チェック内容
公共工事適正化法への対応(情報公開資料)	工事概要書 変更理由書 変更経緯書	☐ 工事概要書が添付されている。 ☐ 記載内容に誤りがない。 ☐ 変更理由書が添付されている。 ☐ 変更が生じた原因・要因が記載されている。 ☐ 起工時想定不可能という観点で記載されている。 ☐ 変更経緯書が添付されている。 ☐ 記載内容に誤りがない。
建設リサイクル法等への対応	分別解体等の計画(別表1～3) ☐ 対象工事 ☐ 対象工事外 [対象工事] ・建築物の解体: 80㎡以上 ・建築物の新築: 500㎡以上 ・工作物の工事: 5百万円以上 解体工事等の通知書(様式2) ☐ 対象工事 ☐ 対象工事外 産廃税の設計計上 ☐ 対象工事 ☐ 対象工事外	☐ Co、As、木くずの分別解体方法(工程ごとの作業内容)が適正である。 ☐ Co、As、木くずの発生見込量が適正に計上されている。 ☐ 現場説明書に再資源化施設への搬出が指定されている。 ☐ 通知書が添付されている。 ☐ 記載内容に誤りがない。 ☐ 産廃税相当額が適正に設計計上されている。
地産地消の取組 ○[地産地消の定義] ・県内で生産された(発生した)資材等を用い、県内に本社や工場、事業所を有する企業が県内で生産する完成品 ○[県内製品の定義] ・県内に本社や工場、事業所を有する企業が県内で生産する完成品	県土整備部リサイクル製品使用基準に基づく設計 ☐ リサイクル製品を使用 ☐ リサイクル製品を不使用(不使用の理由) ----- 鳥取県内産資材の使用 ☐ 県内産資材を使用 ☐ 県外産資材を使用	☐ 設計図書に使用するリサイクル製品と使用量が明示されている。 ※(内訳) ・製品名: 使用量: ・製品名: 使用量: ・製品名: 使用量: (県外資材を使用する理由) ※-----
環境(ISO14001)への取組	環境配慮チェックリスト ☐ 対象工事 ☐ 対象工事外 (鳥取県公共事業環境配慮指針による適用対象事業が対象) 鳥取県グリーン調達品目 ☐ グリーン調達品目を使用 ☐ グリーン調達品目を不使用(不使用の理由) ----- 鳥取県公共事業環境配慮指針による適用対象事業か(対象の場合→要報告) ☐ 対象工事 ☐ 対象工事外	☐ 環境配慮チェックリストが添付されている。 ☐ 記載内容に誤りがない。 ☐ 事業ごとの目標値を概ね達成している。 ☐ 鳥取県グリーン調達品目調書が添付されている。 ☐ 使用するグリーン調達品目が明示されている。 ☐ 使用するグリーン調達品目の使用量が明示されている。 ※(内訳) ・製品名等: 使用量: ・製品名等: 使用量: ・製品名等: 使用量:
景観形成への取組	景観形成への取組 ☐ 景観への配慮が必要 ☐ 景観への配慮が不要 (不要の理由)	☐ 景観への配慮事項が記載されている。 ※(内容) ・景観形成計画: ----- ・景観形成指針: ----- ☐ 景観形成特記仕様書が添付されている。
コスト削減対策	工事コストの低減対策 ・目標: コスト削減率 %以上	☐ 建設費削減評価表が添付されている。 ☐ コスト削減の項目、内容が適正である。 ☐ コスト削減額が適正に試算されている。
「目標値は各機関で設定」 維持管理関係 残土対策 [優先順位: ①→④] [販売(⑤)は①, ②に使用できない場合]	☐ 維持管理チェックリストの添付有 建設残土の有効利用 ☐ ①現場内利用 ☐ ②他の公共工事に流用 ☐ ③センター処分場に指定処分 ☐ ④担当課協議により処分方法決定 ☐ ⑤販売等その他()	☐ 暫定供用、旧道処理等について維持管理課協議済 ・左記のチェックが④の場合 ☐ 担当事業課との協議を完了している。 ・左記のチェックが③の場合 ☐ 残土を流用できる他の公共工事が無い。 ☐ 残土発生時期、他工事の流用時期の調整がつかず、ストックヤードも確保できない。
人権尊重	ユニバーサルデザインへの取組	☐ バリアフリーの視点で設計されている。 ☐ 誰もが安全に利用できる設計となっている。
現場説明書	施工条件の明示	☐ 明示すべき施工条件が全て記載されている。
法令による規制状況 調査 ☐ 調査が必要 ☐ 調査は不要	関係法令による規制状況の明示 ☐ 道路法 ☐ 河川法 ☐ 砂防法 ☐ 農地法 ☐ 森林法 ☐ 自然公園法 ☐ その他()法	☐ 調査が添付されている。 ☐ 関係法令等が全て明記されている。 ☐ 記載内容に誤りがない。
特記仕様書 ☐ 特記仕様書 必要 ☐ 特記仕様書 不要	次のいずれかに該当する。 ☐ グランドアンカー工 ☐ 特殊法面処理工 ☐ 地盤改良工 ☐ その他特殊工事()	☐ 特記仕様書が添付されている。 ☐ 該当工事の内容を熟知し、適正に仕様書を作成している。